

特集

1

白書でひも解く 自衛隊発足70年の歩み

1

特集

2

私はこうして「日本を守る！」

11

ダイジェスト

本文第Ⅰ部～第Ⅳ部の記述について、分かりやすく要約しています。

23

第Ⅰ部

わが国を取り巻く安全保障環境

第1章 概観

- 1 グローバルな安全保障環境 39
- 2 インド太平洋地域における安全保障環境 40

第2章 ロシアによる侵略とウクライナによる防衛

- 1 全般 45
- 2 ウクライナ侵略の経過と見通し 45
- 3 ウクライナ侵略が国際情勢に与える影響と各国の対応 50

第3章 諸外国の防衛政策など

- 第1節 米国 55
 - 1 安全保障・国防政策 55
 - 2 軍事態勢 60
- 第2節 中国 64
 - 1 全般 64
 - 2 軍事 65
 - 3 対外関係など 89
- 第3節 米国と中国の関係など 95
 - 1 米国と中国の関係（全般） 95
 - 2 インド太平洋地域における米中の軍事動向 96
 - 3 台湾の軍事力と中台軍事バランス 99
- 第4節 朝鮮半島 105
 - 1 北朝鮮 106
 - 2 韓国・在韓米軍 127
- 第5節 ロシア 131
 - 1 全般 131
 - 2 安全保障・国防政策 131
 - 3 軍事態勢と動向 133
 - 4 北方領土などにおけるロシア軍 138
 - 5 対外関係 139
- 第6節 大洋州 145
 - 1 オーストラリア 145
 - 2 ニュージーランド 148
- 第7節 東南アジア 150
 - 1 全般 150
 - 2 各国の安全保障・国防政策 150
 - 3 各国の軍近代化 154
 - 4 地域内外における協力 155
- 第8節 南アジア 156
 - 1 インド 156
 - 2 パキスタン 158
 - 3 カシミール地方の帰属をめぐるインドとパキスタンとの対立 159
- 第9節 欧州・カナダ 160
 - 1 全般 160
 - 2 多国間の安全保障の枠組みの強化 161
 - 3 欧州各国などの安全保障・防衛政策 163
- 第10節 その他の地域など（中東・アフリカを中心に） 167
 - 1 中東 167
 - 2 アフリカ 171
 - 3 国際テロリズムの動向 173

第4章 宇宙・サイバー・電磁波の領域や情報戦などをめぐる動向・国際社会の課題など

- 第1節 情報戦などにも広がりをもせる科学技術をめぐる動向 175
 - 1 科学技術と安全保障 175
 - 2 軍事分野における先端技術動向 175
 - 3 民生分野における先端技術動向 177
 - 4 情報関連技術の広まりと情報戦 178
 - 5 防衛生産・技術基盤をめぐる動向 180
- 第2節 宇宙領域をめぐる動向 182
 - 1 宇宙領域と安全保障 182
 - 2 宇宙空間に関する各国の取組 182

- 第3節 サイバー領域をめぐる動向 186
 - 1 サイバー空間と安全保障 186
 - 2 サイバー空間における脅威の動向 186
 - 3 サイバー空間における脅威に対する動向 188
- 第4節 電磁波領域をめぐる動向 191
 - 1 電磁波領域と安全保障 191
 - 2 電子戦に関する各国の取組 191
- 第5節 海洋をめぐる動向 193
 - 1 「公海自由の原則」などをめぐる動向 193
 - 2 海洋安全保障をめぐる各国の取組 193
 - 3 北極海をめぐる動向 194
- 第6節 大量破壊兵器の移転・拡散 196
 - 1 核兵器 196
 - 2 生物・化学兵器 197
 - 3 弾道ミサイルなど 197
 - 4 大量破壊兵器などの移転・拡散の懸念の拡大 198
- 第7節 気候変動が安全保障環境や軍に与える影響 199
 - 1 全般 199
 - 2 安全保障への影響 199
 - 3 インド太平洋地域における気候変動 200

第Ⅱ部

わが国の安全保障・防衛政策

第1章 安全保障と防衛の基本的考え方

- 第1節 安全保障を確保する方策 203
- 第2節 憲法と防衛政策の基本 204
 - 1 憲法と自衛権 204
 - 2 憲法第9条の趣旨についての政府見解 204
 - 3 基本政策 205
- 第3節 安全保障政策の体系 207

第2章 国家安全保障戦略などの「三文書」

- 第1節 国家安全保障戦略の概要 208
- 第2節 国家防衛戦略の概要 209
 - 1 防衛大綱から国家防衛戦略への変遷 209
 - 2 国家防衛戦略の概要 211
- 第3節 防衛力整備計画の概要 219
 - 1 計画の方針 219
 - 2 自衛隊の体制など 220
 - 3 整備規模 221
 - 4 所要経費など 225

第3章 防衛力整備と予算

- 第1節 令和6（2024）年度の防衛力整備 226
- 第2節 防衛関係費 228
 - 1 令和6（2024）年度防衛関係費の概要 228
 - 2 重点ポイント 230
 - 3 防衛関係費の内訳 231
 - 4 最適化への取組 233
 - 5 防衛力強化のための財源確保 233
 - 6 各国との比較 233

第4章 安全保障と防衛を担う組織

- 第1節 国家安全保障会議 236
- 第2節 防衛省・自衛隊の組織 237
 - 1 防衛力を支える組織 237
 - 2 自衛隊の統合運用体制 241
 - 3 統合作戦司令部 242

第5章 自衛隊の行動に関する枠組み

- 1 自衛隊の任務 244
- 2 わが国の防衛 244
- 3 公共の秩序の維持や武力攻撃に至らない侵害への対処など 246
- 4 重要影響事態への対応 250
- 5 国際社会の平和と安定への貢献に関する枠組み 251

第Ⅲ部

防衛目標を実現するための3つのアプローチ

第1章 わが国自身の防衛体制

第1節	わが国の防衛力の抜本的強化と国全体の防衛体制の強化	255
1	わが国の防衛力の抜本的強化	255
2	国全体の防衛体制の強化	256
第2節	力による一方的な現状変更を許容しない安全保障環境の創出	259
1	「瀬取り」への対応	259
2	中東地域における日本関係船舶の安全確保のための情報収集	260
第3節	力による一方的な現状変更やその試みへの対応	263
1	わが国周辺における常統的な情報収集・警戒監視・偵察 (ISR)	263
2	わが国の主権を侵害する行為に対する措置	267
第4節	ミサイル攻撃を含むわが国に対する侵攻への対応	270
1	島嶼部を含むわが国に対する侵攻への対応	270
2	ミサイル攻撃などへの対応	275
3	陸・海・空領域における対応	280
4	宇宙領域での対応	283
5	サイバー領域での対応	289
6	電磁波領域での対応	295
7	大規模テロや重要インフラに対する攻撃などへの対応	296
8	国民保護に関する取組	299
第5節	情報戦への対応を含む情報力強化の取組	302
1	情報収集・分析などの機能の強化	302
2	認知領域を含む情報戦などへの対処	304
第6節	継戦能力を確保するための持続性・強靱性強化の取組	306
1	弾薬の確保	306
2	燃料などの確保	307
3	装備品の可動状況の改善	308
4	施設の強靱化	309
第7節	国民の生命・身体・財産の保護に向けた取組	311
1	大規模災害などへの対応	311
	令和6年能登半島地震への対応	313
2	在外邦人等の保護措置および輸送への対応	316

第2章 日米同盟

第1節	日米安全保障体制の概要	318
1	日米安全保障体制の意義	318
2	日米防衛協力のための指針 (ガイドライン) の内容	319
3	日米間の政策協議	319
第2節	日米共同の抑止力・対処力の強化	323
1	宇宙領域やサイバー領域などにおける協力	323
2	統合防空ミサイル防衛	324
3	情報収集・警戒監視・偵察 (ISR) 活動	324
4	米軍等の部隊の武器等防護	324
5	後方支援	324
6	共同訓練・演習	326
7	拡大抑止	326
8	共同使用	326
第3節	同盟調整機能の強化	328
1	同盟調整メカニズムの設置	328
2	運用面におけるより緊密な調整	330
第4節	共同対処基盤の強化	331
1	情報保全およびサイバーセキュリティ	331
2	防衛装備・技術協力	331
第5節	在日米軍の駐留に関する取組	333
1	在日米軍の駐留	333
2	在日米軍再編に向けた取組	336
3	在日米軍の駐留に関する取組	350

第3章 同志国などとの連携

第1節	多角的・多層的な安全保障協力の戦略的な推進	358
1	同志国などとの連携の意義など	358
2	各国との防衛協力・交流の推進	361
3	多国間安全保障協力の推進	397
4	能力構築支援への積極的かつ戦略的な取組	406
5	女性・平和・安全保障 (WPS) 推進に向けた取組	408
第2節	海洋安全保障の確保	412
1	海洋安全保障の確保に向けた取組	412
2	海賊対処への取組	412
3	海洋安全保障にかかる協力	416
第3節	国際平和協力活動への取組	417
1	国際平和協力活動の枠組みなど	417
2	国連PKOなどへの取組	418
3	国際緊急援助活動への取組	422
第4節	軍備管理・軍縮や不拡散への取組	423
1	軍備管理・軍縮・不拡散関連条約などへの取組	423
2	大量破壊兵器の不拡散などのための国際的な取組	424

第Ⅳ部

共通基盤の強化

第1章 いわば防衛力そのものとしての防衛生産・技術基盤の強化

第1節	防衛生産基盤の強化	427
1	防衛生産基盤強化法と基本方針	428
2	防衛生産基盤強化法以外の主な取組	433
第2節	防衛技術基盤の強化	437
1	防衛技術基盤の強化の必要性	437
2	防衛技術指針2023に示す防衛技術基盤の強化の方向性	438
3	次期戦闘機の開発	440
4	民生技術の積極的な活用	442
第3節	防衛装備・技術協力と防衛装備移転の推進	445
1	防衛装備移転三原則にかかわる制度	445
2	防衛装備移転の推進のための取組	449
3	米国との防衛装備・技術協力関係の深化	450
4	新たな防衛装備・技術協力の構築	451
5	防衛装備・技術協力にかかるその他の取組	456
第4節	装備品の最適化の取組	458
1	合理的な装備体系の構築のための取組	458
2	限られた人材を最大限有効に活用するための取組 (無人化・省人化)	458
3	ライフサイクルを通じたプロジェクト管理	459
4	契約制度などの改善	460
5	調達効率化に向けた取組など	461
6	FMS調達の合理化に向けた取組の推進	462
第5節	経済安全保障に関する取組	464
1	日本政府内の動向	464
2	防衛省の取組	464

第2章 防衛力の中核である自衛隊員の能力を発揮するための基盤の強化

第1節	人的基盤の強化	465
1	採用の取組強化	465
2	予備自衛官などの活用	469
3	人材の有効活用に向けた施策など	472
4	生活・勤務環境の改善など	473
5	人材の育成	474
6	処遇の向上、再就職支援など	474
第2節	ハラスメントを一切許容しない環境の構築	479
1	ハラスメント被害への対応	479
2	ハラスメント根絶に向けた措置に関する防衛大臣指示など	480
3	防衛省ハラスメント防止対策有識者会議	481
4	ハラスメント防止の状況に関する特別防衛監察	481
5	ハラスメント防止対策の抜本的見直し	482
第3節	ワークライフバランス・女性の活躍のさらなる推進	483
1	ワークライフバランス推進のための働き方改革	483
2	女性の活躍推進のための改革	484
第4節	衛生機能の変革	487
1	戦傷医療対処能力の抜本的強化	487
2	各種事態や多様な任務に対応するための衛生機能の強化	489
第5節	政策立案機能の強化	491
1	政策立案機能の強化に向けた取組	491
2	防衛研究所における取組	491
3	その他の機関における取組	492

第3章 訓練・演習に関する諸施策

第1節	訓練・演習に関する取組	494
1	わが国自身による各種事態への対処力強化に資する訓練	495
2	日米同盟の強化に資する訓練	499
3	日米に第三国を交えた多国間共同訓練	502
4	同志国との二国間共同訓練	503
5	同志国などとの多国間訓練	505
第2節	各種訓練環境の整備や安全管理	509
1	訓練環境	509
2	安全管理への取組	510

第4章 地域社会や環境との共生に関する取組

第1節	地域社会との調和にかかわる施策	512
1	民生支援活動	512
2	地方公共団体などによる自衛隊への協力	513
3	地方公共団体と地域住民の理解・協力を確保するための施策	513
4	防衛施設と周辺地域との調和を図るための施策	514
5	国家行事への参加	517
6	南極地域観測に対する支援	517
7	部外土木工事の受託	517
8	その他の取組	518
第2節	気候変動・環境問題への対応	520
1	防衛省・自衛隊の施設に関する取組	520
2	在日米軍施設・区域に関する取組	522
第3節	情報発信や公文書管理・情報公開など	523
1	様々な広報活動	523
2	公文書管理・情報公開に関する取組	525
3	政策評価などに関する取組	526



解説 特定のトピックについて、政府の立場からより詳しい説明を加えています。



VOICE 現場の隊員や部外の関係者などによる、個人の立場からの考えや感想などを掲載しています。



視点 防衛研究所の研究者による、個人の立場からよりアカデミックな観点での分析を述べています。研究者個人が公開資料に依拠して独自の立場から記述したものであり、日本政府あるいは防衛省の公式見解を示すものではありません。

第I部

第1章 概観

解説 わが国周辺における核・ミサイル戦力の増強 44

第2章 ロシアによる侵略とウクライナによる防衛

視点 ロシアによるウクライナ侵略の状況 54

第3章 諸外国の防衛政策など

視点 三正面の対応を迫られる米国 63

解説 台湾をめぐる中国の軍事動向 84

視点 連携を強める中国軍とロシア軍 91

解説 2023年以降の北朝鮮の核・ミサイル開発動向 123

解説 わが国周辺におけるロシアの軍事動向 140

解説 太平洋島嶼国が抱える安全保障上の問題 148

視点 フィンランド・スウェーデンのNATO加盟の意義 163

視点 イスラエル・パレスチナ武装勢力間の衝突 168

第4章 宇宙・サイバー・電磁波の領域や情報戦などをめぐる動向・国際社会の課題など

視点 偽情報を含む影響工作と「情報機関」による「情報戦」の論点 179

第II部

第2章 国家安全保障戦略などの「三文書」

解説 反撃能力 214

視点 抑止力の意義 218

第3章 防衛力整備と予算

解説 安全保障に関連する経費 235

第4章 安全保障と防衛を担う組織

解説 自衛隊の統合運用体制の深化 243

第III部

第1章 わが国自身の防衛体制

解説 尖閣諸島について 264

解説 南西防衛体制の強化 275

VOICE 宇宙領域把握（SDA）任務 286

解説 宇宙安全保障構想と防衛省の取組 288

VOICE 陸自高等工科学校で学んで 293

解説 Jアラートによる弾道ミサイルに関する情報伝達（内閣官房からのお知らせ） 299

VOICE 国民保護訓練に参加した隊員の声 301

VOICE 令和6年能登半島地震における災害派遣に従事した即応予備自衛官の声 314

第2章 日米同盟

解説 同盟強化のための取組 322

解説 日米拡大抑止協議 327

VOICE 日米間の調整業務を通じて感じたこと 329

解説 米軍ロウワー・プラザ住宅地区の一般開放 344

第3章 同志国などとの連携

VOICE 乗艦協力プログラムに参加した防衛省内部部局職員の声 400

VOICE 令和5年度インド太平洋方面派遣（IPD23）護衛艦部隊乗務の声 405

VOICE WPS 推進に向けた防衛省の取組 411

第IV部

第1章 いわば防衛力そのものとしての防衛生産・技術基盤の強化

VOICE ①装備品の開発・生産拠点強化にかかる取組

②「君シカオラン」で、装備品のキーサプライヤーに。… 432

解説 次期戦闘機：国際機関の創設 442

解説 次期戦闘機の第三国移転（国会審議での主要な論点）… 448

解説 防衛装備移転三原則改正に対する諸外国・企業などの反応 449

VOICE 日本製警戒管制レーダーの受領をうけて（フィリピン空軍第580警戒管制団司令の声） 455

第2章 防衛力の中核である自衛隊員の能力を発揮するための基盤の強化

VOICE 活躍する即応予備自衛官と雇用主の声 471

VOICE 再就職した隊員と雇用主の声 478

解説 戦傷医療対処能力強化に向けた取組～防衛省の戦傷医療における輸血戦略～ 489

解説 防衛大学校卒業式 493

第3章 訓練・演習に関する諸施策

解説 令和5年度自衛隊統合演習（実動演習）「05JX」… 496

VOICE 米海兵隊との実動訓練「レプリュート・ドラゴン23」に参加した隊員の声 501

VOICE 日仏共同訓練に参加した隊員の声 505

VOICE 米豪主催多国間共同訓練「タリスマン・セイバー23」に参加した隊員の声 507

第4章 地域社会や環境との共生に関する取組

解説 わが国の水産物の消費拡大に向けた取組 519

解説 令和5年度航空観閲式 525

巻末資料 平和を仕事にする 539

主要装備品、主な広報施設などについて紹介しています。

索引 528

資料編

<https://www.mod.go.jp/j/press/wp/wp2024/pdf/R06shiryo.pdf>



防衛年表

<https://www.mod.go.jp/j/press/wp/wp2024/pdf/R06nenpyo.pdf>

